

C-4 不織布シーツの実用化に関する一考察

東京学芸大

中橋美智子

鹿児島大教育

○森田量子

目的 不織布シーツの実用化に関しては、在来の織物に比較してまだ充分に利用されていないのが現状である。本実験は、この不織布シーツの実用化を更に進めるために、性能実験・洗たく実験・就寝実験を行ない、被服衛生学の立場から一般に使用されている綿シーツとの比較検討を試みたので報告する。

方法 試料：不織布シーツ，綿シーツ（変り織り）

実験：(1)性能実験 1)保温性，2)通気性 3)含気性 4)吸湿性 5)吸水性
6)防しわ性 7)その他 (2)洗たく実験 洗たく10回後の上記の性能実験および各強度試験 (3)就寝実験 上記の試料による一週間就寝後の使用感のアンケート調査

結果 不織布シーツは含気性・保温性・通気性・吸湿性にすぐれ軽く耐洗たく性もあり、洗たく後の各強度実験の結果も著しい低下は認められなかった。また洗たくによる収縮率も綿シーツに比較して僅少である。就寝実験の結果、外観・しわ・耐久性などの問題がとりあげられたが、しかし一般的傾向として寝心地・保温性に満足を示し、今後旅行用・来客用などの利用を希望している。強度の点では綿シーツより著しく劣るが短期間使用として耐久性もこの程度で許容されよう。外観のペーパー的風合いの問題も今後更に改良の余地があろう。